



目をそむけたくなるような写真ですが、収容されている間、この子はいたって平常心でくつろいでいます。まだあどけないこの子猫は野鳥に攻撃されたのか、左目は保護時にすでに欠如していました。

のら猫の生活する環境は過酷です。
交通事故やケガ、感染症にかかるリスクを抱えています。



のら猫による苦情・相談の多い地域で産まれた子猫たちです。増えた猫は病気になったり、交通事故で死んでいくのがほとんどです。